

第9章 緑化重点地区の整備方針

9-1 緑化重点地区の考え方

都市景観や都市防災、市民交流や市民生活のうるおいなどの面で緑が重要な役割を担っている地区でありながら、現状では十分に緑が確保されていない地区を緑化重点地区として位置づけ、重点的に緑化を推進します。

例えば、市域のなかで駅前など都市のシンボルとなる地区、市街地開発事業等が予定されている地区、市街地の緑化で防災強化を図る地区、都市公園を核とし市民の憩いの拠点となる地区などが、重点緑化地区として想定されます。

そこで、次の3地区を緑化重点地区として位置づけ、公園緑地の整備や都市緑化等を重点的かつ優先的に検討していきます。

9-2 緑化重点地区の整備方針

1 中心市街地周辺地区

(1) 地区の現状

本地区は桑名市の玄関口である桑名駅をはじめ、現在、魅力的な商業地と良好な住宅地等の創出をめざして桑名駅西土地区画整理事業が進捗中であること、さらに中心市街地として賑わいの創出、歩いて暮らせるまちづくりの推進が図られていることなど、桑名市の核であり、顔となる地区となっています。

また、地区内には高塚山古墳、六華苑などの歴史的な資源、赤須賀地区などの漁村集落や東海道、濃州道などのまち並みなどの歴史的な景観が残っています。

さらに、周囲には高塚山古墳周辺や走井山公園などに隣接した樹林地、揖斐川などの水辺といった身近な自然環境も残っています。

(2) 地区の課題の整理

① 保全すべき緑地

・地区内には桑名市の骨格を形成するシンボリックな緑地である高塚山古墳周辺の樹林地、走井山公園周辺の樹林地などが残っていますが、市街地の拡大により、動植物の生息環境にもなっているこれら貴重な緑地の減少が懸念されています。また、これらの緑地は民有地であり、放置された樹林地も少なくなく、適正な保全・管理に努めていくことが求められます。

② 緑化が必要な場所

- ・桑名駅の駅前広場は緑に乏しいこともあり、市の玄関口として訪れた人々を迎え入れ、印象付けるには魅力が弱くなっています。そのため、桑名駅東西の駅前広場の緑化を推進し、魅力を高めることが求められます。
- ・桑名駅西土地区画整理事業区域では公園等の整備が予定されており、これらの公園等において特徴のある緑化を図っていくことが求められます。
- ・地区内に配置されている九華公園、走井山公園等は桑名市を代表する公園として、四季折々の自然や景色が感じられる公園として機能の充実を図ることが求められます。
- ・本地区は中心市街地として歩いて暮らせるまちづくりを推進しています。そのため、魅力ある商業空間の形成や、九華公園、七里の渡、六華苑・諸戸家住宅などのシンボル空間の魅力化を図るとともに、これらを結ぶ歩行空間のネットワーク化を図り、回遊性の向上を図っていくことが必要であり、広幅員の歩道等において緑化等の推進やユニバーサルデザイン化を進めていくことが求められます。
- ・駅周辺には商業地や駐車場があり、これらの周辺緑化を図っていくことも必要です。
- ・市役所をはじめ、小学校などの公共施設や河川沿いなどへの緑化を推進していくことも求められます。

(3) 地区緑化の基本方針

① 骨格となる緑の保全

- ・本地区を取り囲む高塚山古墳周辺の樹林地、走井山公園周辺の樹林地、揖斐川等の河川などは桑名市の骨格となる緑として保全・活用を図ります。

② 緑の拠点づくり

- ・桑名駅前広場をはじめ、九華公園、走井山公園などは桑名市を代表する緑の拠点とし魅力の向上を図ります。

③ 水と緑と歴史の回廊づくり

- ・骨格となる緑や緑の拠点を始め、木曾三川や堀、七里の渡などの「水」、六華苑・諸戸家住宅などの「歴史」をネットワークし、うるおいと安らぎが感じられる魅力的な緑あふれる歩行者空間を整備し、回遊性の向上を図ります。

(4) 地区の緑化目標

① 地区の目標像

- ・水と緑と歴史を生かしたまちづくり
～歩いて暮らせるまちづくりの実現～